



施設敷地内の
寒椿が見頃です

ほほえみ絶やさず

施設長 小川内秀樹

イエス様のご降誕を待ち望む者たちに与えられたのは、暗闇に光る星の導きと、夜番中の羊飼いに現れた神の使いの栄光でした。闇の中の光とは、希望の印でもあります。特養にて、十月初旬に職員の新型コロナウイルス陽性で、入居者ご家族様には、ご心配をおかけし、大変申し訳ありませんでした。十月十一日から翌月十八日までの間、職員十名、入居者様十八名内九名入院が陽性。保健所からのみで生活を、陽性の方には、入院や、陰圧対応の居室で過ごして頂きました。

高齢者の方々は、七日間や十日間では、中々、陰性となる事はなく、二週間から四週間程度の期間を要しました。その間、限られた介護職員、看護職員により、最低限の事に、懸命に考えながら、利用者中心に行動してきた毎日、何に代えがたい経験です。かえって、介護内容や環境がシンプルとなり、的を絞った時間の使い方も学んだ気がします。イエスキリストを産んだ母マリヤでさえ、自分の身に起きた事に不安を感じた時期がありました。しかし、神様に委ねられた姿を見たエリサベツは言いました。「主によつて語られたことは必ず実現すると信じきった人は、なんと幸いなことでしょう。」

緊張強いられた今年、その中で、入居者の方々が本当に祝福され、守られている事を実感します。お年寄りのほほえみは絶えません。感謝です。メリークリスマス！

十一月のボランティア

協力牧師の方々（日曜礼拝）ボランティア様の受け入れを中止しております。

ぶくし祭り

特養ヘルパー主任 野田望

十一月十三日、常総市石下総合福祉センターにて、ぶくし祭りが開催されました。当日は、天気も良く、まさしく「祭り日和」となりました。

新型コロナウイルスの影響で、三年ぶりの開催となりました。持ち帰りのホットドッグを、当日の朝に、参加職員で、心を込めて準備しました。会場では、飛ぶように売れてしまい、一時過ぎた頃には、五十個全て売り切れとなりました。他にも、デイサービス利用者の、手作りの手芸品販売も完売でした。機能訓練機器の、ニューステップ体験コーナー、グループホームからは、キッチンカーが参加し、パンを販売しました。来場の方々も、至る所で、買い物や体験を楽しまれていて、笑顔の多さに、温かい気持ちになりました。次回も、参加できることを祈っています。

大盛況に感謝！

大好評の手芸品

好評のホットドッグ

ニューステップの体験

クリスマス祝会のお知らせ

当日、ご家族様の参加はできませんが、ご利用者の皆様に楽しんでいただけるよう、プログラムを考案しました。

日時 令和四年十二月二十二日(木) 十四時三十分から

場所 食堂ホールにて

内容

- ☆小此木牧師による、クリスマスメッセージ
- ☆賛美の合唱
- ☆サンタクロースよりプレゼント

訂正とお詫び

ほほえみ九月号と十一月号にて、「ほほえみ」の通し番号(シリアルナンバー)に、間違いがありましたので、訂正して、お詫びいたします。

- ・九月号 (限り) 409 (正) 408
 - ・十一月号 (限り) 411 (正) 409
- ※十月号は休刊。

【編集後記】本格的な寒さの到来。温かくし、体調に気をつけてお過ごし下さい。ほほえみ担当 秋谷・片見

相談員日誌

「フレイミング」 宮本真次

近年の野球においては注目されているフレイミングという捕手のキヤッチング技術がある。ボール半分ストライクゾーンから外れたようなストライクがボールか際どいボールをキヤッチング技術によりストライクにするという卓越した技術。キヤッチングが上手い捕手と組めば投手も心理的に楽に投球出来る。投手にとってメンタル面は非常に大切な要素で、思い切り腕を振って投げられるかに関わってくる。

投手の信頼を得て、投手個々の持ち味を最大限に引き出す為にもフレイミングは不可欠である。翻つて、自分の思いや気持ちを上手く伝えられないご利用者に寄り添い、信頼して頂き、その方の望む生活を実現して頂ける様、相談員としてのフレイミングの精度を上げていきたいと日々心がけている...



(NO410) 特別養護老人ホーム 筑波キングス・ガーデン 0297(24)5139



江原 光子様の紹介 (長男 江原洋介様)

昭和十七年九月十一日生まれた八十歳です。長い間、和裁の仕事をしていました。自分の事よりもいつも家族の事を考え、一男三女の四人の子供を育ててくれました。今では孫が六人います。あまり趣味といえるものは、ありませんが、昔は石原裕次郎のファンでした。キングスガーデンで、お世話になる事になって、家から近い事もあり、面会などの機会も増えるので、家族一同喜んでいきます。今後とも、よろしくお願ひします。

『憩の汀での光子様は、毎日、星食の際に起きて、リビングで過ごす事を、楽しみにされています。眺めの良いリビングから、外をくまなく見えています。『天気が良いですね。』また、ある日は、『今日は雨ですね。』と、穏やかな表情で、職員にも語り掛けて下さいます。職員のケアにも、さりげなく『ありがとう』と云います。すみませんね。』と労って下さいます。これからは、光子様が、穏やかに過ごされるよう、職員一同お祈りしています。『憩の汀へルパー』

ハレルヤ。まことに、われらの神にほめ歌を歌うのは良い。まことに楽しく、賛美は麗しい。 詩篇147編1節 ホームページ

干し柿作り挑戦

虹の架け橋ヘルパー 秋谷陽子

「あの柿、どうするの？渋柿なの？甘柿なの？食べないの？もつたいないわ。せつかく(柿)の木があるんだから食べなくちゃ。昔、食べ物がない時代だったら、みんな食べるわよ。もつたいないわ」とT様が居室から中庭の柿の木を指さして、何度も話されていました。話を聞くとT様は自宅で、渋柿を干し柿に作っていました。話を聞くとT様は自宅であら、干し柿を作ることになりました。T様は、思い出話をしながら、包丁で柿を剥いていました。一度も切れることなく剥いており、表情はとても嬉しそうでした。そこから数週間干し柿をして柿の状態を見ながら、食べごろを見極めてきました。柿の状態を見ながら、食す日が来ました。柿を一口大に切り、職員も含めて五人でいただきました。柿を食べると柿の甘さが一瞬にして口の中で広がり、「あまーい」と五人が揃って言っていました。T様のお陰で、今年は秋の味覚を感じる年になりました。T様ありがとうございます。

大きな柿だね～

見事な包丁さばき

十二月の誕生者

- 石塚やい様 九十四歳
- 遠藤チエ子様 九十九歳
- 中島泰江様 七十六歳

お誕生おめでとうございます。

多くの人に支えられた1年 理事長兼総合施設長 宇都宮和子 夕暮れになると玄関前のツリーが輝き、クリスマスを待ちわびる日々です。今年の特養もコロナウイルスとの戦いが続き、現場スタッフも本当に大変だったと思います。しかし、その中でも笑顔と絆を絶やさず、黙々とご利用者さんに仕える姿に、唯々、感謝と祈る日々でした。改めてスタッフのチームワークの良さに心打たれました。特養は在宅と併せてスタッフは七十七名、職種も事務員、介護員、看護師、栄養士、ケアマネージャー、施設管理、運転手、清掃員、調理員、作業療法士、理学療法士です。同時に施設を支えて下さる医師、病院、業者の方々、キングスガーデンの為に折りを擧げて下さった方々、最後に大変な中、面会に来て下さったご家族の皆さまに支えられた1年です。『受けるよりも与える 慰められるよりも慰める』スタッフの働く姿に主の御言葉を思い、これからは『祈りから始まり、祈りで終わる』特養でありたいと祈っています。